

2021年1月現在



女子形:清水希容(しみず・きよう)

### ■憧れとワクワクが、活躍の舞台を広げていく

空手を始めたのは小学3年生の時。道場の女子の先輩が演武する形を見て、空手のかっこよさや美しさを感じ、のめり込む。自分を表現できる形演武の楽しみに、みるみるうちに力をつけ、中学から全国区で活躍する。

力をつけてきた2011年の3月、全国選抜大会が東日本大震災の影響で中止に。チームメイトとともに泣き崩れた経験がある。悔しさをバネに春のナショナルチーム選考会で初合格。さらにその夏のインターハイで初の日本一に輝く。そこから大きな舞台への憧れが増し、2012年11月、パリ世界選手権での宇佐美里香さんの演武動画を見て感動。本気で世界を目指すきっかけになる。

2013年に全日本選手権を史上最年少の20歳で優勝。翌2014年、初の世界選手権で世界一を獲得する。たった一つのマットに観客の視線が集まる決勝の雰囲気「もう一度あの舞台に立ちたい」とやみつきになった。

### ■多くの人の心を打つ、五輪空手の象徴に

以降、空手のTOKYO2020オリンピックムーブメントでは、その象徴ともいえる存在になる。2015年夏には組織委員会の新競技プレゼンテーションでの演武、翌2016年にオリンピック採用決定となった後の注目高まる世界選手権で優勝。同年末の全日本選手権は天覧試合となり、そこでも優勝を果たす。プロ野球東京ドームの開幕戦始球式や、TOKYO2020組織委員会イベントでの演武など、多くの人の心を打ち、広く「空手」「形」が伝わっていく。

「清水希容を見て、空手を始めた」という声も聞かれるようになった。

### ■五輪前哨戦で史上唯一の空間

TOKYO2020オリンピック予選シリーズでは、毎月のように遠征する国際大会に力を発揮しきれない試合が重なった。

だが、五輪前哨戦と位置付けられた2019年9月のプレミアリーグ東京大会で優勝。

このとき、ライバルであるサンドラ（スペイン）と決勝で対戦。両者の演武が同点、史上初となる決勝での同点再演武になった。ここで青の清水はオヤドマリノパッサイを日本国内初演武。滑らかさと、躍動感、技のキレ、清水の演武が織りなす日本初の体験が、日本武道館の大観衆との共鳴を呼ぶ。

演武が終わると、そこから点数発表がされるまでの間、手拍子が鳴り止まない状況に。形競技でかつてみたことのない会場のボルテージを呼び込んだ。

### ■清水希容の演武を貫く

かつて母親が「希容は、世界を魅了する形を打てる」と言葉をかけたことがある。様々な苦しみを超え積み上げてきた日々を、強い気持ちとともに一挙手一投足に込める演武。自分を表現できる喜び、大きな舞台、初めての舞台に立てるワクワク。空手に励む清水希容の原点となるスタイルだ。それが会場と共鳴し、至高の空間を作り上げてきた。

そして空手にとって初めてのオリンピックという舞台へ。果たしてどのような胸を打つ場面を迎えるのだろうか。

【生年月日】1993年12月7日

【出身地】大阪府大阪市

【身長・体重・血液型】160cm

【所属】ミキハウス

【出身高校、大学】東大阪大学敬愛高校→関西大学

【流派】糸東流

【主な演武形】チャタンヤラクーサンクー、チバナノクーサンクー、パープーレン、オヤドマリノパッサイ、スーパーリンペイ

### 【主な戦績(国際大会)】

★ 2014・16 WKF 世界空手道選手権大会 金メダル(2連覇)

★ 2018 WKF 世界空手道選手権大会 銀メダル

★ 2019 WKF KARATE1プレミアリーグ東京大会 金メダル

★ 2017 ワールドゲームズ 金メダル

★ 2014・18 アジア競技大会 金メダル(2大会連続)

★ 2015・18・19 AKF アジア空手道選手権大会 金メダル

★ 2012・14 FISU 世界大学選手権大会 金メダル(2大会連続)

★ 2013 WKF 世界アンダー21 空手道選手権大会 金メダル

★ 2011 WKF 世界ジュニア空手道選手権大会 金メダル

★ 2011～2020 全日本空手道連盟ナショナルチームメンバー(10年連続)

【WKF 公式戦国際大会(全成績リンク)】

[http://accreditation.qtixx.com/wkfranking/ranking\\_main\\_competitor.php?ranking\\_country=JPN&ranking\\_competitor=&ranking\\_competitor\\_name=SHIMIZU%20KIYOU](http://accreditation.qtixx.com/wkfranking/ranking_main_competitor.php?ranking_country=JPN&ranking_competitor=&ranking_competitor_name=SHIMIZU%20KIYOU)

【主な戦績(国内大会)】

- ★ 2013～19 全日本空手道選手権大会 7連覇  
(2013 年に同大会女子形史上最年少優勝＝20 歳)
- ★ 2011 インターハイ 優勝

【受賞歴】

- ★ 2017 第 66 回日本スポーツ賞(読売新聞社)
  - ★ 2017 第 51 回ビッグスポーツ賞(テレビ朝日)
- など

【メディア特集】

- ★ 共同通信 47NEWS(2020 年～)
- ★ TOKYO2020 参画プロジェクト WEB 野村萬斎 × 清水希容(2017 年)
- ★ NHKBS1 スペシャル「KARATE 世界に勝つ」シリーズ
- ★ 空手道マガジン月刊 JKFan ほか多数

【Instagram】@kiyou\_1

【facebook】清水希容